

【都市整備課所管 事後評価審議資料】

○事後評価対象箇所一覧表	・・・p. 1
○事後評価実施箇所表	・・・p. 2
○説明資料（パワーポイント）	
1) 街路事業	
「(都) 長良系貫線（正木工区）」	・・・p. 5

令和7年度 事後評価実施箇所一覧表 2月4日審議箇所

[都市建築部 都市整備課]

番号	担当課名	県事業		事業採択年度	完了年度	全体事業費 (百万円)	事業名	路線・地区・河川名等	実施箇所 (市町村名)	対応方針(案)			備考
		補助・ 交付金	県単							今後の事後評価の 必要性	改善措置の 必要性	新規事業へ適用すべき留意点	
1	都市整備課	○		H23	R5	4,990 ----- 5,063	街路事業	都市計画道路 長良糸貫線正木工区	岐阜市	今後の事後評価では 必要無し	今後の段階では 必要無し	周辺住民への配慮等、環境に配慮した事業 の実施を推進していく。	

令和7年度事後評価箇所表

担当課〔都市整備課〕

番 号	4	事業名 (路線・河川名等)	街路事業(都)長良系貫線 正木工区	
事業実施箇所	岐阜市 ^{まさき} 正木	全体事業費 (当初事業費)	5,063百万円 (4,990百万円)	
採択年度	平成23年度	完了年度	令和5年度	
事後評価の実施基準	事業完了後一定期間(5年以内)が経過した事業			
事業目的	<p>都市計画道路長良系貫線は、岐阜市若竹町を起点として本巣市屋井に至る延長12.4kmの都市計画道路である。</p> <p>当該事業はこのうち0.543kmの区間について、車道拡幅・自転車歩行者道設置・橋梁設置を行うものであり、東海環状自動車道(岐阜IC)へのアクセス向上や交通利便性の向上(所要時間の短縮・渋滞緩和)、災害時に有効に機能するネットワークの確保を目的としている。</p>			
事業概要	<p>事業延長：543m、車道幅員：3.25m×4車線、 歩道幅員(一般部)：4.50m(両側)、歩道幅員(橋梁部)：3.50m(両側)</p>			
概要図	<p>概要図は、岐阜市正木地区の都市計画道路長良系貫線正木工区L=543mの事業区間を示しています。地図には、主要地方道(緑色)と事業区間(赤色)が示されています。写真①は、事業区間の現況道路の様子を、写真②は、事業区間の計画道路の様子を示しています。</p> <p>(C) 岐阜県</p> <p>0 500m</p>			

評価結果	
① 住民参加・協働による効果	<p>○都市計画道路長良糸貫線 正木工区は、地域念願の事業であり、開通式典後に鷺山、黒野自治会連合会共催の開通記念ウォーキングが開催された。</p>
② 事業の効果	<p>○東海環状自動車道（岐阜IC）へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海環状自動車道（岐阜IC）までのアクセス性が向上。 （正木古川西交差点から折立稲場交差点までの所要時間が約4分短縮） ・岐阜大学医学部附属病院へのアクセス性も向上し、緊急輸送道路として十分な機能が期待される。 <p>○周辺道路の混雑緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経路の選択肢が増え、交通量が分散し、（主）岐阜大野線の混雑が緩和された。 ・（主）岐阜大野線（繰舟橋）の交通量が約4,400台減少した。 <p>○関係事業者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋滞が緩和されたため、通勤、通学時間が短縮された。（大学、病院関係者） ・渋滞の緩和により、バスの定時性が向上した。（岐阜バス） ・経路の選択肢が増えたため、黒野地域への配達が円滑になった。（運送業） <p>○費用対効果分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B/Cは2.4であり、費用対効果がある。
③ 環境面への配慮	<p>○振動計による振動レベルの計測およびPC板敷設時の騒音防止対策として民家と神社の境界に防音シートを設置して施工を行った。</p>
④ 事業を巡る社会経済情勢の変化	<p>○東海環状自動車道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海環状自動車道（西回り区間）は、令和7年4月に山県IC～本巣IC間、令和7年8月に本巣IC～大野神戸IC間が新たに開通、養老IC～いなべIC間は整備中である。 ・関西方面からのアクセス性の向上により、岐阜ICから長良糸貫線を経由し岐阜市内へのアクセス数の増加が期待される。
⑤ 利用者・地域住民等への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「渋滞の解消」や「所要時間の短縮」の項目で約5～7割が効果を実感。 ・「緊急車両の搬送・到着時間の安心感」に関する項目で約6割が満足と回答。

⑥ 対応方針（案）

○今後の事後評価の必要性

・今の段階では必要なし。

○改善措置の必要性

・今の段階では必要なし。

○新規事業へ適用すべき留意点

・周辺住民への配慮等、環境に配慮した事業の実施を推進していく。

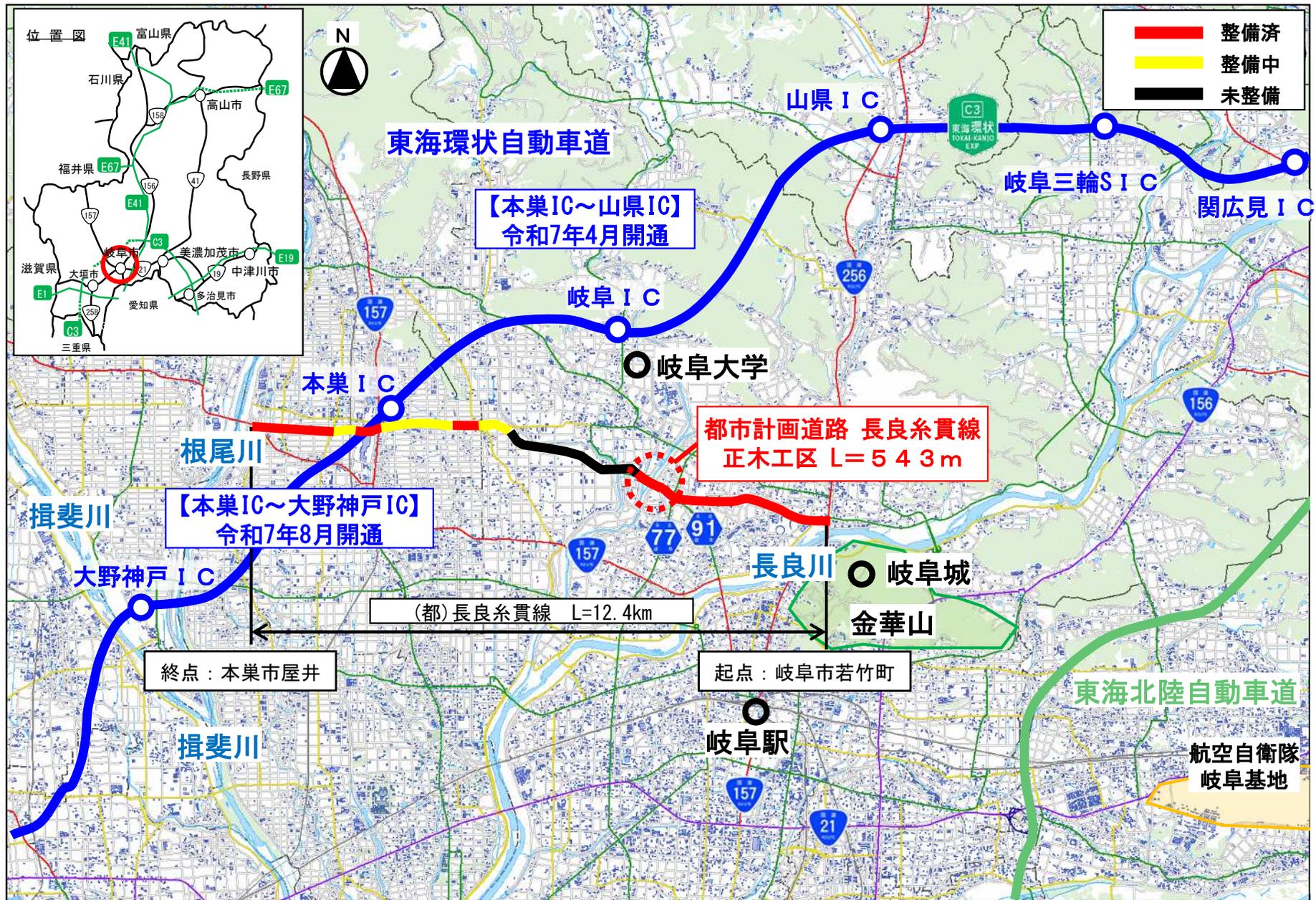


事後評価
街路事業

ながらいとぬき
都市計画道路 長良糸貫線
まさき
(正木工区)

岐阜県 都市建築部 都市整備課
令和7年2月4日

位置図 ①



位置図②

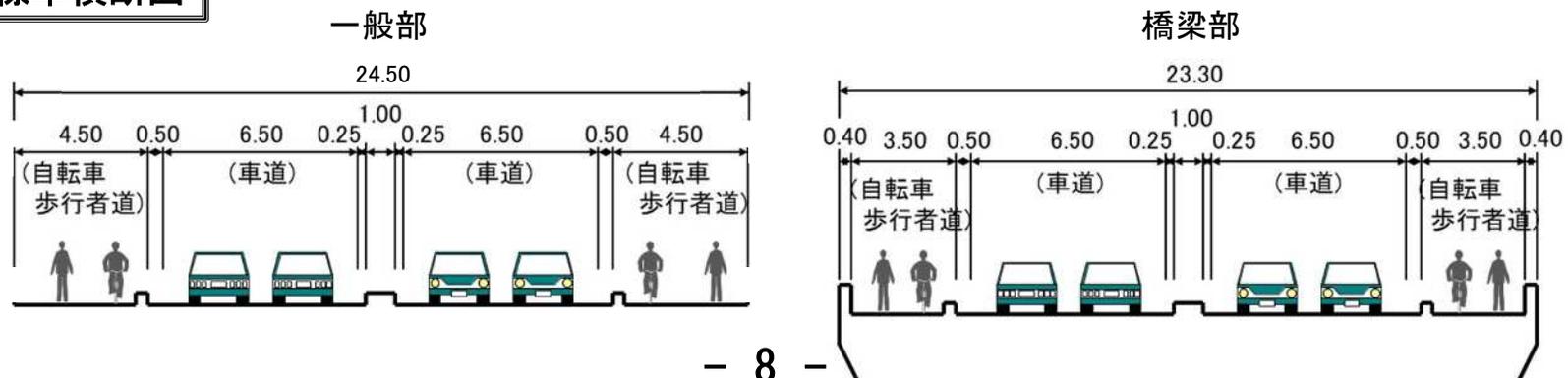


(C) 岐阜県

事業概要

- 起終点：^{ぎふしまさき}岐阜市 正木
- 全体延長：543m
- 総事業費：約51億円
- 事業着手：平成23年度
- 完成：令和5年度（供用開始：令和6年3月17日）
- 幅員：車道 3.25m × 4車線
自転車歩行者道 一般部：4.50m（両側）
橋梁部：3.50m（両側）
- 道路規格：第4種第1級

標準横断図



住民の参加・協働による効果

■ 鷺山、黒野自治会連合会共催の開通記念ウォーキングが開通式後に開催され、事業に対する理解を深めていただいた。

■ 開通記念ウォーキングに参加する地域の皆様



地域念願の事業だった(都)長良糸貫線の開通を祝うため、鷺山、黒野自治会連合会をはじめとする地域の方々が開通記念ウォーキングに参加された。

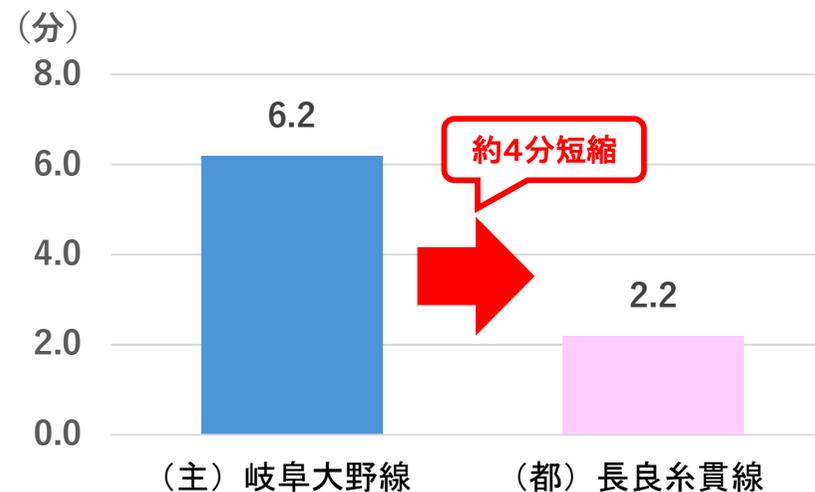
事業の効果①

■ 東海環状自動車道（岐阜IC）までのアクセス性が向上

■ 正木古川西交差点から岐阜ICまでの経路



■ 所要時間の変化（正木古川西-折立稲場交差点間）



【整備前：(主) 岐阜環状線～(主) 岐阜大野線経由】

※R3道路交通センサス

※調査結果（混雑時平均旅行速度）

【整備後：(都) 長良系貫線経由】

※実測調査（R7.5.27）



事業の効果②

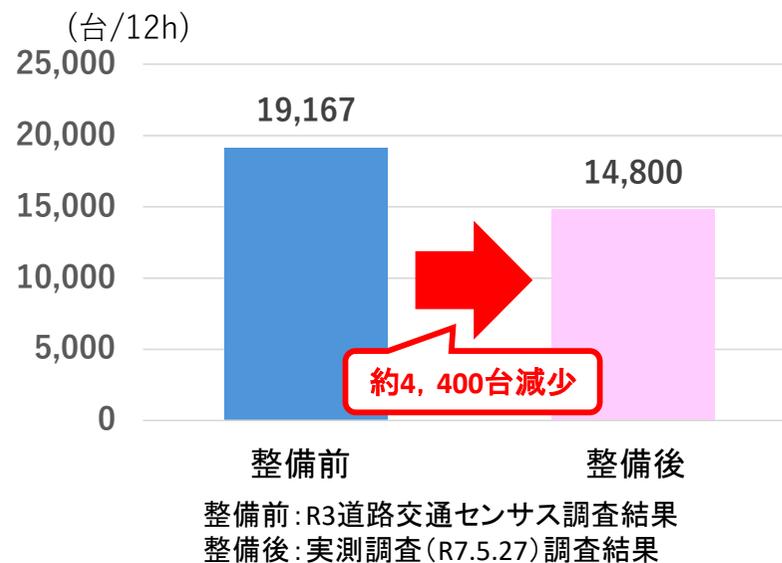
■ 周辺道路の混雑緩和

(主) 岐阜大野線 (正木土居、折立稲場交差点間)

■ 長良系貫線と周辺道路及び主要交差点



■ 岐阜大野線(繰舟橋)の交通量(7時~19時)



事業の効果③

■ 関係事業者の声

(大学・病院職員、公共交通機関及び運輸業者)

■ 長良系貫線と周辺道路及び主要交差点



■ 関係事業者の声 (ヒアリング調査結果)



大学職員

長良系貫線の開通によって、岐阜大野線の混雑が緩和され、余裕をもって通勤できるようになったと感じています。

また、通勤ルートを選択肢が増えた点も嬉しいです。



病院職員

長良系貫線が開通してから、岐阜大野線から長良系貫線を通る通勤ルートに変更しました。

自宅から岐阜大学医学部附属病院までの通勤に要する時間が約5分程度短縮されました。



岐阜バス

長良系貫線の開通に伴い令和7年10月から、バス路線を改正し、岐阜大学病院線の一部を長良系貫線経由に変更しました。並行路線の(主)岐阜大野線の混雑が緩和され、バス路線の定時性が向上しました。



運送会社

黒野地域へ輸送する時は、岐阜美山線および周辺道路を利用していましたが、長良系貫線が開通してから、長良系貫線を通ることにより、輸送時間が約10分程度短縮されました。

費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 85%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 15%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 0%

投資的效果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 2.4$$

前回評価時
(R2年度再評価)
2.1

※費用便益分析マニュアル(令和7年8月 国土交通省)に基づき算出

環境面への配慮

周辺家屋への振動、騒音への配慮

- 振動計による振動レベルの計測およびPC板敷設時の騒音防止対策として民家と神社の境界に防音シートを設置して施工を行った。

【振動の計測状況】



【防音シートの設置状況】

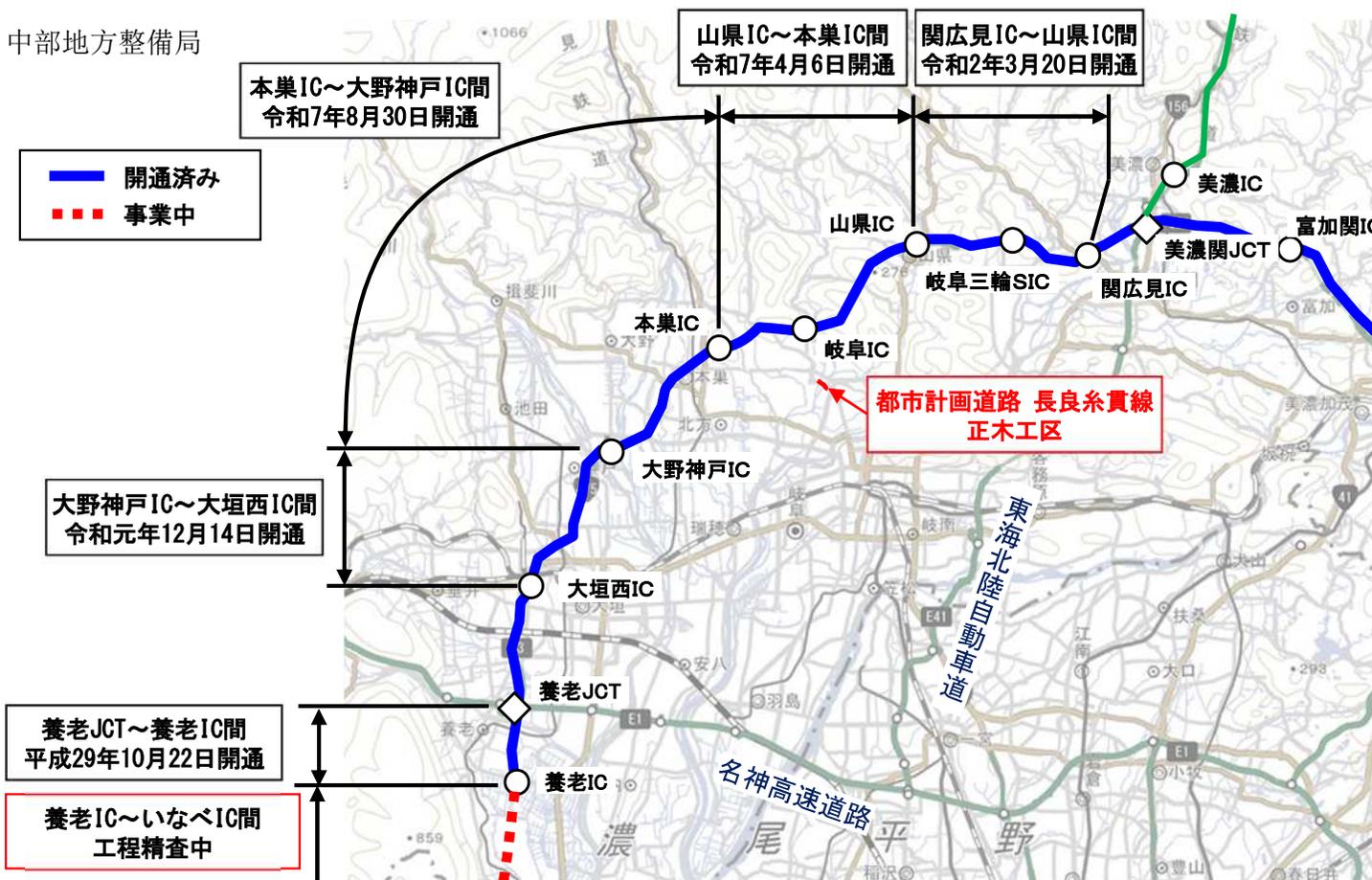


事業を巡る社会経済情勢等の変化

東海環状自動車道の整備

- 東海環状自動車道 山県IC～本巢IC間 (令和7年4月) 開通
本巢IC～大野神戸IC間 (令和7年8月) 開通
- 関西方面からのアクセス性が向上したため、岐阜ICから長良系貫線を経由し、岐阜市内へのアクセス数の増加が期待される

出典:中部地方整備局



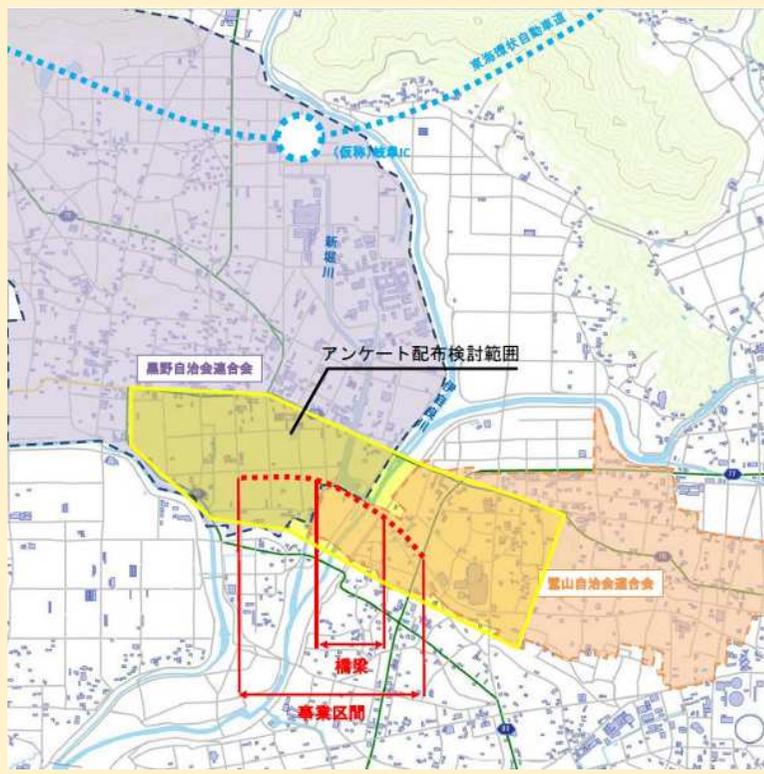
利用者・地域住民等への効果

アンケート調査結果 (調査時期：令和7年8月、配布方法：自治会の回覧文書と一緒に各戸へ配布)

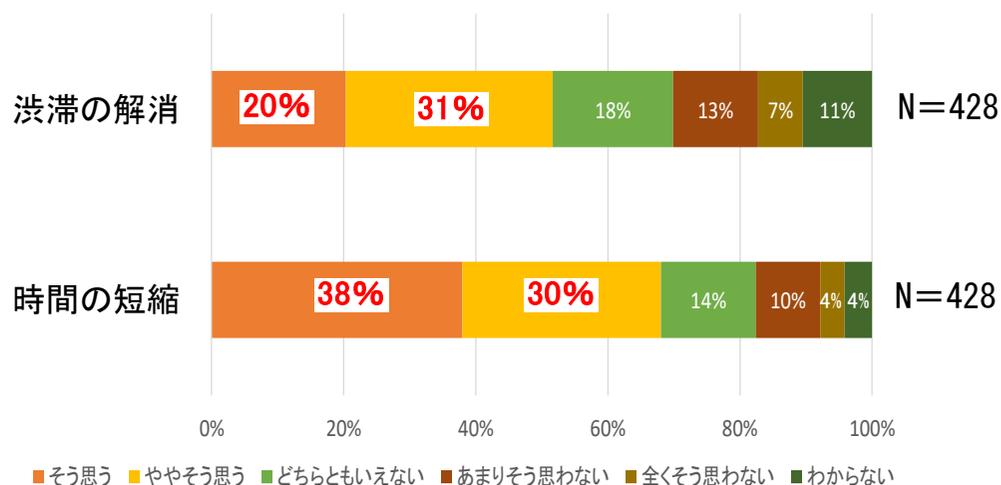
- 当該地区間を利用する可能性がある地域住民を対象にアンケート調査を実施
- 整備に対する満足度は、回答者の約5～7割が「そう思う」または「ややそう思う」と回答
- 地域にとっての有益性は、回答者の約6割が「そう思う」または「ややそう思う」と回答

【協力地区：回答者数/配布枚数=回収率】

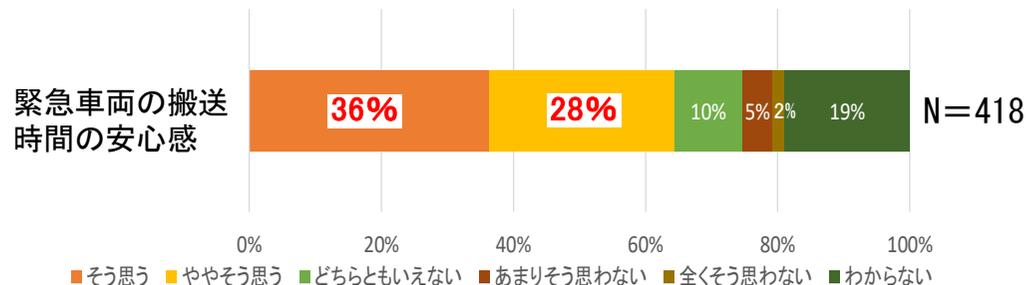
- ・黒野地区：184人/465枚=40%
- ・鷺山地区：244人/714枚=34%
- 合計：428人/1179枚=36%



【整備に対する満足度】※無回答は除く



【地域にとっての有用性】※無回答は除く



対応方針（案）

◆今後の事後評価の必要性

- （主）岐阜大野線の渋滞緩和効果が確認されており、地域住民からもそれを実感する声が上がっている。
- 東海環状自動車道へのアクセス機能が向上しており、この効果は今後のIC周辺の開発拡大によりさらに向上することが見込まれる。
→現段階では、事後評価の必要はない

◆改善措置の必要性

- （主）岐阜大野線の渋滞緩和及び東海環状自動車道へのアクセス機能向上といった事業効果が確認されている。
→現段階では、改善措置の必要はない

◆新規事業への適用すべき留意点

- 周辺住民への配慮等、環境に配慮した事業の実施を推進していく。